令和6年6月7日 開 会
令和6年6月18日 閉 会
令和6年6月 定例会

川南町議会会議録

川南町議会事務局

令和6年第2回(6月)川南町議会定例会会期表〔12日間〕

目次	月日	曜	摘要
第1日	6月7日	金	開会 本会議(議案上程・提案理由説明)
第2日	6月8日	土	休会
第3日	6月9日	日	休会
第4日	6月10日	月	議案熟読
第5日	6月11日	火	本会議(一般質問)
第6日	6月12日	水	本会議(一般質問)
第7日	6月13日	木	本会議(議案質疑・委員会付託) (議案第33号上程・提案理由説明・議案質疑・委員会付託) 常任委員会
第8日	6月14日	金	常任委員会
第9日	6月15日	土	休会
第10日	6月16日	日	休会
第11日	6月17日	月	常任委員会
第12日	6月18日	火	本会議(委員長報告・討論・採決)

目 次

告 示	1
応招議員・不応招議員	1

第1号（ 6月7日 ）

本日の会議に付した事件	2
出席議員・欠席議員・事務局出席者・説明員	3
開 会	4
諸般の報告・会期の決定について・会議録署名議員の指名について	4
報告第2号 専決処分の報告について	4
報告第3号 専決処分の報告について	5
報告第4号 令和5年度川南町一般会計繰越明許費繰越計算書 について	5
報告第5号 令和5年度川南町一般会計事故繰越し繰越計算書 について	6
議案上程・提案理由説明・議案質疑・討論・採決(承認第1号)	6
議案上程・提案理由説明・議案質疑・討論・採決(承認第2号)	8
議案上程・提案理由説明・議案質疑・討論・採決(承認第3号)	9
議案上程・提案理由説明(議案第27号～第31号)	10
議案上程・提案理由説明(議案第32号)	12
請願第1号 地方自治法第100条に基づく調査特別委員会 (通称:百条委員会)設置を求める請願について・委員会付託	14
散 会	16

第2号（ 6月11日 ）

本日の会議に付した事件	17
出席議員・欠席議員・事務局出席者・説明員	18
開 議	19
一般質問	19
1内藤 逸子	19
2米田 正直	32
3小嶋 貴子	39
4徳弘 美津子	45
5蓑原 敏朗	56
6中瀬 修	68
散 会	74

第3号 (6月12日)

本日の会議に付した事件	75
出席議員・欠席議員・事務局出席者・説明員	76
開 議	77
一般質問	77
1中村 昭人	77
2児玉 助壽	87
3三原 明美	92
4乙津 弘子	111
5田中 宏政	122
6河野 禎明	136
散 会	143

第4号 (6月13日)

本日の会議に付した事件	144
出席議員・欠席議員・事務局出席者・説明員	145
開 議	146
議案質疑・委員会付託(議案第27号)	146
議案質疑・委員会付託(議案第28号)	148
議案質疑・委員会付託(議案第29号)	149
議案質疑・委員会付託(議案第30号)	151
議案質疑・委員会付託(議案第31号)	152
議案質疑・委員会付託(議案第32号)	152
議案上程・提案理由説明・議案質疑・委員会付託(議案第33号)	156
散 会	159

第5号（6月18日）

本日の会議に付した事件	160
出席議員・欠席議員・事務局出席者・説明員	161
開 議	162
委員長報告・討論・採決(議案第27号～第31号)	162
委員長報告(議案第32号)	168
議案上程・提案理由説明・採決(発委第1号 議案第32号 令和6年度川南町一般会計補正予算(第1号)に対する修正動議)	170
討論・採決(議案第32号(発委第1号以外))	171
委員長報告・討論・採決(議案第33号)	171
議案上程・提案理由説明・採決(発議第4号)	173
議案上程・提案理由説明・採決(発議第5号)	176
委員長報告・討論・採決(請願第1号)	179
議案上程・提案理由説明・採決(発議第6号)	183
議案上程・提案理由説明・採決(発議第7号)	188
職員派遣の件	198
閉会中における議会広報編集特別委員会活動の件	198
議会運営委員会の閉会中の所掌事務継続調査の件	198
閉 会	198

川南町告示第110号

令和6年第2回(6月) 川南町議会定例会を次のとおり招集する。

令和6年5月30日

川南町長 東 高士

- 1 期日 令和6年6月7日
- 2 場所 川南町議会議事堂

○ 応招議員(13名)

1番	乙津 弘子	議員	2番	内藤 逸子	議員
3番	蓑原 敏朗	議員	4番	田中 宏政	議員
5番	河野 禎明	議員	6番	児玉 助壽	議員
7番	中村 昭人	議員	8番	米田 正直	議員
9番	中 瀬 修	議員	10番	小嶋 貴子	議員
11番	三原 明美	議員	12番	徳弘美津子	議員
13番	河野 浩一	議員			

○ 不応招議員(なし)

令和6年第2回(6月)川南町議会定例会会議録

令和6年6月7日 (金曜日)

本日の会議に付した事件

令和6年6月7日 午前9時00分開会

日程第1	諸般の報告について
日程第2	会期の決定について
日程第3	会議録署名議員の指名について(河野 禎明・児玉 助壽)
日程第4	報告第 2号 専決処分の報告について
日程第5	報告第 3号 専決処分の報告について
日程第6	報告第 4号 令和5年度川南町一般会計繰越明許費繰越計算書について
日程第7	報告第 5号 令和5年度川南町一般会計事故繰越し繰越計算書について
日程第8	承認第 1号 専決処分の承認を求めるについて
日程第9	承認第 2号 専決処分の承認を求めるについて
日程第10	承認第 3号 専決処分の承認を求めるについて
日程第11	議案第27号 川南町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
日程第12	議案第28号 川南町公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例の一部改正について
日程第13	議案第29号 川南町国民健康保険税条例の一部改正について
日程第14	議案第30号 川南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
日程第15	議案第31号 宮崎県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
日程第16	議案第32号 令和6年度川南町一般会計補正予算(第1号)
日程第17	請願第 1号 地方自治法第100条に基づく調査特別委員会(通称:百条委員会)設置を求める請願について

出席議員(13名)

1番 乙津 弘子 議員	2番 内藤 逸子 議員
3番 蓑原 敏朗 議員	4番 田中 宏政 議員
5番 河野 禎明 議員	6番 児玉 助壽 議員
7番 中村 昭人 議員	8番 米田 正直 議員
9番 中瀬 修 議員	10番 小嶋 貴子 議員
11番 三原 明美 議員	12番 徳弘美津子 議員
13番 河野 浩一 議員	

事務局出席職員職氏名

事務局長 谷 講平 君 書記 大塚 隆美 君

説明のために出席した者の職氏名

町 長		副町長	河野 秀二 君
教育長	長曾我部 敬一 君	会計管理者・ 会計課長	山 本 博 君
総務課長	小嶋 哲也 君	まちづくり課長	稲田 隆志 君
財政課長	川崎 紀朗 君	税務課長	米田 政彦 君
町民健康課長	渡邊 寿美 君	福祉課長	河野 賢二 君
環境課長	甲 斐 玲 君	産業推進課長	河野 英樹 君
農地課長	新倉 好雄 君	建設課長	黒木 誠一 君
上下水道課長	大塚 祥一 君	教育課長	三好 益夫 君
代表監査委員	永 友 靖 君		

午前9時00分開会

○議長（河野 浩一君） おはようございます。ただいま町長から病気により、本定例会を欠席するとの届け出がありましたので御報告します。

ただいまから令和6年第2回、川南町議会定例会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元にお配りしてあるとおりであります。

日程第1、諸般の報告を行います。

前回の議会から本日までの主な事柄については、お手元にお配りした別紙のとおりであります。

なお、定期監査の結果並びに例月現金出納検査の結果についての報告は、お手元に配付してあるとおりであります。

以上で報告を終わります。

日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から18日までの12日間にしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

異議なしと認めます。

したがって会期は本日から18日までの12日間に決定しました。

日程第3、会議録署名議員の指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第125条の規定によって、河野禎明議員及び児玉助壽議員を指名します。

日程第4、報告第2号専決処分の報告についてを議題とします。

朗読は省略します。

本件について、提出者の報告を求めます。

○副町長（河野 秀二君） おはようございます。

それでは、報告第2号専決事項について、提案理由の説明をいたします。

報告第2号は、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分を行いましたので、同条第2項の規定により議会に報告するものでございます。

内容に関しましては、専決処分書に書いてありますとおり、令和6年1月14日に番野地町営住宅に設置してある金網フェンス支柱が老朽化により腐食していたことにより、駐車中の車両に倒れ掛かり、損害を与えたものであります。

以上で報告を終わります。

○議長（河野 浩一君） ただいまの報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

○議員（徳弘 美津子さん） この事故を受けて、その後町営住宅のフェンスの見直しとかをされたのかどうか伺います。

○建設課長（黒木 誠一君） 徳弘議員の御質疑にお答えいたします。

この事故を受けましてですね、全部の住宅のフェンスを見てまいりました。

以上です。

○議長（河野 浩一君） 他に質疑はありませんか。

他に質疑はありませんか。

〔「なし」という声あり〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

以上で報告を終わります。

日程第5、報告第3号専決処分報告についてを議題とします。

朗読は省略します。

本件について、提出者の報告を求めます。

○副町長（河野 秀二君） 報告第3号は、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分を行いましたので、同条第2項の規定により議会に報告するものでございます。

内容に関しましては、専決処分書にありますとおり、委託料等の所得税源泉徴収について、源泉徴収義務者である町が適正に源泉徴収していなかったことにより、源泉所得税不納付加算税及び延滞税を合わせまして21万1500円発生したものであります。

以上で報告を終わります。

○議長（河野 浩一君） ただいまの報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」という声あり〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

以上で報告を終わります。

日程第6、報告第4号令和5年度川南町一般会計繰越明許費繰越計算書についてを議題とします。

朗読は省略します。

本件について提出者の報告を求めます。

○副町長（河野 秀二君） 報告第4号は、地方自治法第213条の規定に基づき、令和5年度川南町一般会計予算において繰越明許費を計上いたしました、賠償金（源泉所得税分不納付加算税及び延滞税）戸籍システム改修事業委託費（戸籍への氏名振り仮名追加のための機能整備等）、障害者相談支援事業過年度分委託分補償金、物価高騰対応重点支援事業（住民税

均等割のみ課税世帯分及び低所得者の子育て世帯子ども加算分）、合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業、物価高騰等対策プレミアム付商品券等発行事業（第2弾）、国光原中学校プール塗装改修工事並びに川南町文化ホール図書館複合施設非常用直流電源盤及び蓄電池交換工事につきまして、翌年度への繰越額が令和5年度川南町一般会計繰越明許費繰越計算書のとおり確定しましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告するものでございます。

以上で報告を終わります。

○議長（河野 浩一君） ただいまの報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」という声あり〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

以上で報告を終わります。

日程第7、報告第5号令和5年度川南町一般会計事故繰越し繰越計算書についてを議題とします。

朗読は省略します。

本件について提出者の報告を求めます。

○副町長（河野 秀二君） 報告第5号は、地方自治法第220条第3項ただし書の規定に基づき、令和5年度川南町一般会計予算において、事故繰越しをすることとなりました、町営住宅施設維持管理事業（ひばりが丘住宅1エレベーター基盤修繕工事）及び白髭地区防火水槽設置工事につきまして、翌年度への繰越額が令和5年度川南町一般会計事故繰越し繰越計算書のとおり確定しましたので、地方自治法施行令第150条第3項の規定において準用する同令第146条第2項の規定により報告するものでございます。

以上で報告を終わります。

○議長（河野 浩一君） ただいまの報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」という声あり〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

以上で報告を終わります。

日程第8、承認第1号専決処分の承認を求めるについて、令和5年度川南町一般会計補正予算（第8号）を議題とします。

朗読は省略します。

本件について、提案理由の説明を求めます。

○副町長（河野 秀二君） 承認第1号は、専決処分をいたしました令和5年度川南町一般

会計補正予算（第8号）につきまして、議会に報告し、その承認を求めるものでございます。

今回の補正予算は、歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ32万9000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ168億4186万5000円とするものでございます。

それでは、主なものにつきまして、第1表の歳入から御説明いたします。

地方交付税1億7534万7000円の増額は、特別交付税の見込み増によるものであります。

国庫支出金2631万6000円及び県支出金2489万2000円の減額は、それぞれ事業費等の完了見込みによるものであります。

寄附金8910万円の減額は、ふるさと納税（通常分）と、企業版ふるさと納税の実績見込みによるものであります。

繰入金4291万4000円及び町債1200万円の減額は、それぞれ事業費等の完了見込みによるものであります。

次に歳出につきまして御説明いたします。

総務費は、2億5341万9000円の増額で、公共施設等整備基金積立金、ふるさと振興基金積立金及び財政調整基金積立金の増額が主なものであります。

基金への積み立ては、これから展開する諸政策のため、その財源として積み立てるものであります。

民生費は、7943万6000円の減額で、物価高騰対応重点支援事業（低所得者世帯支援追加分）給付金、私立保育園等委託料及び私立幼稚園等給付費の執行残見込みによる減額が主なものであります。

農林水産事業費は、2992万6000円の減額で、次代につなぐ園芸産地づくり事業補助金、畜産・酪農収益力強化総合対策基金事業補助金及び川南町優良肉用牛繁殖導入資金貸付金の執行残見込みによる減額が主なものであります。

商工費は、1295万6000円の減額で、商工業振興支援事業補助金、ECサイト運営委託料及びスポーツ合宿補助金の執行残見込みによる減額が主なものであります。

土木費は、8425万3000円の減額で、町道改良工事及び橋りょう補修工事の執行残見込みによる減額が主なものであります。

教育費は、2946万3000円の減額で、町有地緑地公園化工事の執行残見込みによる減額が主なものであります。

第2表繰越明許費補正は、民生費の物価高騰対応重点支援事業（住民税均等割のみ課税世帯分及び低所得者の子育て世帯子ども加算分）を整理統合した上で減額し、教育費の国光原中学校プール塗装改修工事を追加し、商工費の物価高騰等対策プレミアム付商品券等の発行事業（第2弾）を減額変更するものであります。

第3表債務負担行為補正は、戸籍総合システム機器賃借料及びシステム利用料の限度額の減額変更であります。

第4表地方債補正は、公共施設等適正管理推進事業（長寿命化）（総務債）ほか5事業の

限度額の減額変更であります。

以上よろしく御審議の上、御承認いただきますようお願い申し上げます。

○議長（河野 浩一君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」という声あり〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

承認第1号専決処分の承認を求めるについて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」という声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから承認第1号について採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

異議なしと認めます。

したがって承認第1号専決処分の承認を求めるについて、令和5年度川南町一般会計補正予算（第8号）は、原案のとおり承認することに決定しました。

日程第9、承認第2号専決処分の承認を求めるについて、川南町税条例の一部改正についてを議題とします。

朗読は省略します。

本件について提案理由の説明を求めます。

○副町長（河野 秀二君） 川南町税条例の一部改正について、提案理由を説明いたします。承認第2号は専決処分をいたしました川南町税条例の一部改正につきまして、議会に報告し、その承認を求めるものでございます。

専決第3号は、令和6年3月30日に地方税法等の一部改正が公布されたことに伴い、川南町税条例の一部を改正したものです。

改正の主なものは、個人住民税における定額減税の実施に伴う個人住民税の特別税額控除に係る規定の追加、令和6年度評価替えに伴う固定資産税の負担調整措置の期間延長その他条項のずれの調整などであります。

以上、御審議の上、御承認いただきますようよろしくお願いたします。

○議長（河野 浩一君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」という声あり〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

承認第2号専決処分の承認を求めるについて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」という声あり〕

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから承認第2号について採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」という声あり〕

異議なしと認めます。

したがって、承認第2号専決処分の承認を求めるについて、川南町税条例の一部改正については、原案のとおり承認することに決定しました。

日程第10、承認第3号専決処分の承認を求めるについて、川南町国民健康保険税条例の一部改正についてを議題とします。

朗読は省略します。

本件について、提案理由の説明を求めます。

○副町長（河野 秀二君） 承認第3号は、専決処分をいたしました川南町国民健康保険税条例の一部改正につきまして、議会に報告し、その承認を求めるものでございます。

専決第4号は、令和6年3月30日に地方税法施行令の一部改正が公布されたことに伴い、川南町国民健康保険税条例の一部を改正したものです。

改正の内容は、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を22万から24万円に引き上げるとともに、国民健康保険税の減額の対象となる所得の基準について被保険者数等の数に乗すべき金額を5割軽減の対象となる世帯の場合は29万円から29万5000円に、2割軽減の対象となる世帯の場合は53万5000円から54万5000円にそれぞれ引き上げるものです。

以上、よろしく御審議の上、御承認いただきますようお願い申し上げます。

○議長（河野 浩一君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これから質疑を行います。

質疑はありませんか。

質疑なしと認めます。

○議員（内藤 逸子さん） このことによってですね川南町の税がどのくらい上がるっちゃうか、収入があるのかというのが計算しておりますか。

○税務課長（米田 政彦君） ただいまの御質問にお答えします。個別にこの件について計算はしておりませんが、今回の議会で提案しております税条例の一部改正について併せては試算をしております。

以上です。

○議員（内藤 逸子さん） ここで見た場合、2割軽減の対象となる世帯の場合は53万5000円から54万5000円にそれぞれ引き上がるってなっていますよね。

だから、こういう国保税が結局引き上がる人っていうのは多いですか、少ないですか。

○税務課長（米田 政彦君） ただいまの御質問にお答えします。当時の条例改正の時点での人数については把握しておりませんが、少なからず影響はあると考えます。

以上です。

○議長（河野 浩一君） 他に質疑はありませんか。

[「なし」という声あり]

これで質疑を終わります。

承認第3号専決処分の承認を求めるについて討論を行います。

討論はありませんか。

[「なし」という声あり]

討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから承認第3号について採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり承認することに御異議ありませんか。

[「異議なし」という声あり]

異議なしと認めます。

したがって、承認第3号専決処分の承認を求めるについて、川南町国民健康保険税条例の一部改正については、原案のとおり承認することに決定しました。

日程第11、議案第27号川南町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について、日程第12、議案第28号川南町公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例の一部改正について、日程第13、議案第29号川南町国民健康保険税条例の一部改正について、日程第14、議案第30号川南町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について、日程第15、議案第31号宮崎県後期高齢者医療広域連合規約の変更について、以上5議案を一括議題とします。

朗読は省略します。

本5議案について提案理由の説明を求めます。

○副町長（河野 秀二君） 議案第27号から議案第31号までにつきまして、その提案理由を御説明申し上げます。

議案第27号は、川南町特別職報酬等審議会の答申を受けて、議員報酬の月額を引き上げるものです。

次に、議案第28号は、当該条例内で引用する条番号に誤りがあったものを訂正するとともに、用語用字を適正に整え、また指定手続以外の規定もあることから、題名の「指定手続」の部分を「指定手続等」とし、併せて当該題名を引用する関係条例を改正するものです。

次に議案第29号は、国民健康保険税の医療分の所得割額を100分の7.48に、均等割額を3万9700円に、後期高齢者支援分の所得割額を100分の2.71に、均等割額を1万5200円に、介護分の所得割額を100分の2.22に、均等割額を1万7200円にそれぞれ引き上げるものです。

平成30年度以降の国民健康保険事業特別会計は、国民健康保険運営基金と繰越金を除いた単年度収支額が赤字に転じており、令和5年度においては、約8000万円の赤字となる見込みです。

令和5年度末における国民健康保険運営基金の残高見込み額は約2億5800万円ですが、このペースで推移すると、4年から5年で同基金が枯渇し、国民健康保険事業の安定的運営が困難になることから、同基金に余裕があるうちに徐々に引き上げを行うものです。

次に、議案第30号は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い改正するもので、令和5年12月22日に閣議決定された「こども未来戦略」において、職員配置基準の改善が図られたことから、川南町家庭的保育事業等の施設及び運営に関する基準を定める条例の職員配置基準を、満4歳以上児の職員配置の最低基準について見直しを行うとともに、満3歳児の職員配置の最低基準についても併せて見直しを行うものです。

次に、議案第31号は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律（令和5年法律第48号）の施行による、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）の一部改正に伴い、マイナンバーカードと健康保険証が一体化され、現行の被保険者証等が廃止となります。そのため、後期高齢者医療制度の事務に係る規定を改めるため、宮崎県後期高齢者医療広域連合規約を変更することについて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第291条の11の規定により議会の議決を求めるものです。

以上5議案よろしく御審議の上、御決定いただきますようお願いいたします。

○議長（河野 浩一君） 補足説明があればこれを許します。

○総務課長（小嶋 哲也君） 議案第27号につきまして、その補足説明を申し上げます。

町長より諮問された特別職の報酬等の額について、川南町特別職報酬等審議会より答申が出されたことに伴って、議員報酬月額を改定するものです。

議員報酬月額について、議長については、30万円を31万2000円に、副議長については、22万2000円を23万円に、委員長については、21万円を21万8000円に、議員については、20万8000円を21万6000円に、それぞれ改正するものです。

以上で補足説明を終わります。

○議長（河野 浩一君） 以上で、提案理由の説明並びに補足説明を終わります。

日程第16、議案第32号令和6年度川南町一般会計補正予算（第1号）を議題とします。
朗読は省略します。

本議案について、提案理由の説明を求めます。

○副町長（河野 秀二君） 議案第32号は、予算の総額に歳入歳出それぞれ1億883万1000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ137億783万1000円とするものでございます。

それでは、第1表の歳入から御説明いたします。

国庫支出金は、250万2000円の増額で、社会保障・税番号制度システム整備事業補助金及び宮崎県木造住宅耐震促進事業補助金であります。

県支出金は7372万8000円の増額で、農産物等輸出拡大施設整備事業補助金が主なものであります。

繰入金は3010万1000円の増額で、財政調整基金繰入金及びふるさと振興基金繰入金が主なものであります。

諸収入は、250万円の増額で、一般コミュニティ助成事業助成金であります。

次に、歳出につきまして御説明いたします。

議会費は、118万4000円の増額で、議員報酬及び期末手当であります。

総務費は、1379万6000円の増額で、川南西地区コミュニティセンター建物賃借料、一般コミュニティ助成事業助成金及び戸籍システム改修業務委託料が主なものであります。

衛生費は、1819万5000円の増額で、予防接種委託料（任意）（带状疱疹ワクチン）であります。

農林水産業費は、7300万円の増額で、農産物等輸出拡大施設整備事業補助金であります。

土木費は、265万円の増額で、木造住宅耐震化リフォーム支援事業補助金が主なものであります。

教育費は、6,000円の増額で、食育実践事業の消耗品であります。

以上、補足説明のあるものにつきましては担当課長に補足説明をさせますので、よろしく御審議の上、御決定いただきますようお願いいたします。

○議長（河野 浩一君） 補足説明があればこれを許します。

○まちづくり課長（稲田 隆志君） 議案第32号のまちづくり課関連につきまして、その補足説明を申し上げます。

16、17ページをお願いします。

2款1項6目企画費28万5000円は、新型コロナウイルス感染症緊急対策貸付利子補助金基金の残金を国に返還するものです。

2款1項10目自治振興費の13節使用料及び賃借料939万9000円は、川南西地区コミュニテ

ィセンター建物賃借料で、当初予算への計上が漏れていたため、今回計上するものです。

同じく17節備品購入費43万5000円のうち、山本地区コミュニティセンター備品購入14万5000円は、大型ガス炊飯器2台分を計上、多賀地区コミュニティセンター備品購入29万円は、テーブル用台車2台及び椅子用台車1台分の計上で、令和5年度にテーブル用及び椅子用台車を購入予定でしたが、職員の予算執行が遅れ、年度末までに納品が間に合わなかったため、今回改めて計上するものです。

同じく18節負担金補助及び交付金250万円は、八幡地区振興会が実施する一般コミュニティ助成事業（公民館備品購入）に対し、一般財団法人自治総合センターからの助成金を受け、これを交付するものです。

川南西地区コミュニティセンター建物賃借料及び多賀地区コミュニティセンター備品購入につきましては、御迷惑をおかけし大変申し訳ございません。

以上で、まちづくり課関連の補足説明を終わります。

○町民健康課長（渡邊 寿美君） 議案第32号の町民健康課関連につきまして、その補足説明を申し上げます。

16から17ページをお願いします。

2款3項1目戸籍住民基本台帳費の12節委託料117万7000円は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律（令和5年法律第48号）の施行による戸籍法の一部改正に伴い、戸籍の記載事項等の氏名に振り仮名を追加する必要があることから、職権で追加した振り仮名の確認等を本人に通知するための出力機能に係る戸籍情報システム改修の委託料です。

18から19ページをお願いします。

4款1項2目予防費の12節委託料1819万5000円は、50歳以上を対象とした帯状疱疹ワクチンの予防接種委託料で新規事業として本年度より予算化しましたが、接種申込者多数のため、不活化ワクチン約910人分を増額したものです。

以上で、町民健康課関連の補足説明を終わります。

○産業推進課長（河野 英樹君） 議案第32号、産業推進課関係につきまして、その補足説明を申し上げます。

18、19ページをお願いします。

6款1項3目農業振興費、18節負担金補助及び交付金7300万円は、農産物（茶）の輸出拡大を目指し、その生産体制等を構築するため、必要な施設整備を行う生産法人に対して補助するものです。

以上で産業推進課関係の補足説明を終わります。

○建設課長（黒木 誠一君） 議案第32号建設課関連につきまして、その補足説明を申し上げます。

18から19ページをお願いします。

8款4項1目住宅管理費の12節委託料65万円と18節負担金補助及び交付金200万円は、川南町内の一般木造住宅の耐震診断委託料5件分、耐震設計改修に対して補助する木造住宅耐震化リフォーム支援事業補助金2件分です。

近年、地震が多発しており、町民からの問い合わせが増加しております。

令和6年度当初予算にて予算計上しており、現在受付中ではありますが、事業希望者が多いため、追加補正を行うものです。

以上で、建設課関係の補足説明を終わります。

○議長（河野 浩一君） 以上で提案理由の説明並びに補足説明を終わります。

日程第17、請願第1号地方自治法第100条に基づく調査特別委員会（通称百条委員会）設置を求める請願書についてを議題とします。

議会事務局長に朗読をさせます。

○議会事務局長（谷 講平君） それでは朗読いたします。

令和6年4月25日、紹介議員中瀬修。地方自治法第100条に基づく調査特別委員会（通称百条委員会）設置を求める請願書。請願者代表者住所、宮崎県児湯郡川南町大字川南13680番地1、名称川南町商工会、会長宮崎吉敏、住所宮崎県児湯郡川南町大字川南13658番地1、名称宮崎県農業協同組合尾鈴地区本部、本部長網代宗章、住所宮崎県児湯郡川南町大字川南17437番地4、名称川南町漁業協同組合、代表理事組合長俵伸二、住所宮崎県児湯郡川南町大字平田2386番地3、名称川南町各種女性団体連絡協議会、会長河野京子、住所宮崎県児湯郡川南町大字川南13680番地1、名称川南町若者連絡協議会、会長大藤麻衣子。川南町議会議長河野浩一殿。地方自治法第100条に基づく調査特別委員会（百条委員会）の設置を求める請願。第1請願の要旨。川南町文化ホール図書館複合施設の指定管理者の指定に至った一連の事実を明らかにするための地方自治法第100条に基づく調査特別委員会を設置すること。第2請願の理由。

1、令和6年2月5日開催の第1回川南町議会臨時会（以下、「臨時議会」といいます）において、川南町執行部が、川南町文化ホール図書館複合施設（以下、「複合施設」といいます）の令和6年度以降の指定管理者に、「川南町フロンティアネットワーク」（以下「フロンティアネットワーク」といいます）を指定する議案を上程し、賛成多数により可決されました。

2、しかしながら、指定管理者の候補者を選定するため令和6年1月17日に開催された複合施設選定委員会（以下、「選定委員会」といいます）の審査結果においては、当時の指定管理者であった「株式会社図書館流通センター」（以下、「TRC」といいます）が選定されておりました。しかも同日、川南町ホームページに複合施設の指定管理者の候補者をTRCを選定するとの審査結果が掲載されておりました。

3、ところで、令和6年2月4日及び同年同月5日付宮崎日日新聞掲載の記事（以下、「宮日新聞記事」といいます）によると、TRCが令和5年12月の複合施設指定管理者の候

補として応募する際に提出した書類に不備があったことから、選定委員会による審査が終了した後に、TRCが一方的に失格処分とされたとのことでした。

書類に不備があったのであれば、川南町複合施設指定管理者の公募受付担当職員が受付の際に提出書類に不備があるとして、補正を求めるのが通常であります。

また、選定委員会において指定管理者に応募した事業者は、プレゼンテーションを行ったと聞いております。応募受付担当職員は行政庁職員であり、書類チェックのプロと言えます。さらに行政という組織によって受付確認をすることから、受付担当だけでなく、担当課の他の職員もチェックし、最終的に担当部署の課長職が確認しているものと存じます。そのため、必要な書類の提出があるか否かについて、見逃すということは通常考えられません。また、選定委員会における会議でも、根拠資料がないということが話題に上がって当然であると考えます。この2つのチェック機関においても指摘されなかったものに、客観的に明らかな書類不備があったとはにわかに信じられません。

仮に書類不備があったとしても、それは審査結果や審査資格に影響を及ぼすような重大な事項ではなく、極めて軽微な事項であるのではないかと疑問を抱いております。

特に今回TRC側は受付要件を満たした書類を提出したと認識している一方で、受け付けた川南町側が受付要件を満たしていないと後付けであるものの、そう認識したと思われる。そうすると、両者の間には、提出された書類が受付要件を満たすか否かの見解の相違があったのであるから、川南町の一方的な判断で失格処分にすることが果たして妥当なものであったのか甚だ疑問です。

4、令和6年2月9日開催の川南町議会報告会において、TRCが提出した書類の不備に関する具体的な説明が一部の町議会議員から出されました。それによると、収支計画書の算定根拠となる資料がA4紙1枚と簡素なものであり、フロンティアネットワークが提出した膨大な書類の内容に劣っていたということでした。そうであれば根拠資料の提出はなされていたのであるから、TRCが応募に際して提出した書類に形式的な不備はなかったことになります。収支計画書の算定根拠資料が詳細なものであるか、簡素なものであるかは、選定委員会での審査の材料として評価されるべきものであったはずですが。

5、今回の指定管理者の指定は、令和6年度以降の3年間、複合施設の運営について川南町が指定管理者に対して、多額の指定管理料を支出して託されているという町民にとって重要な事業です。

上述のとおり、指定管理者の公募からTRCが指定管理者候補者に選定された後、一転してTRCが失格処分となり、フロンティアネットワークが指定管理者の候補者に指定されるまでの一連の手続に関する事実が不明確であり、かつ手続の適法性に疑義がある中、指定管理者の指定に関する議案の上程、採決までされてしまいました。

一連の流れを見るに、まるでTRCを失格または候補者選定から落としたいという何らかの意図があったようにも思います。これは臨時議会での東町長の「地元の・・・業者を育成

すべきも一つの仕事じゃないだろうか」という業者の所在地関係なく公募することを根底から覆すような発言があったことから見てもとれます。私たちは一連の手続の中で、事実がどうであったのか、また、事実が認定された場合、その手続が真に適切・適法であったのかを川南町に納税している者として知りたいですし、知る権利があります。宮日新聞記事に掲載されていることから、私たちのように、一連の事実を知りたいと考えている町民は多いものと思慮します。TRCが失格処分となったことやその手続がどのような法令に従ってなされたのか、東町長、河野副町長、長曾我部教育長（以下「町三役」といいます）からは、いまだ十分な説明がなされておられません。

町三役には早急に町民に十分な説明を尽くすよう努力していただきたいと存じます。

さらに関係者の記憶が薄れない間に、複合施設の指定管理者指定に至った一連の事実を明らかにするための地方自治法第100条に基づく特別委員会を設置し、公正中立な調査が行われた上で、一連の事実が明らかにされる必要があります。

6、以上のようなことから、複合施設の指定管理者変更についての地方自治法第100条に基づく調査特別委員会を設置することをお願いいたします。

以上です。

○議長（河野 浩一君） 以上で朗読を終わります。

本請願の取扱いについては、文教産業常任委員会に付託します。

以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

皆様お疲れ様でした。

午前09時55分終了

.....